



W. J. M. W.

^ 5
4501



門 5
號 4501
卷



松の枝の葉の影の海
波の音の響きの空
風の吹く姿の雲
雨の降る時月の光
花の散る時鳥の鳴
草の生える時虫の鳴
水の流れの音の響
土の踏みしめる音
木を切る音の響
火を焚く音の響
石を打つ音の響
鐘を打つ音の響
鼓を打つ音の響
笛を吹く音の響
琴を弾く音の響
歌を唄う音の響
舞を踊る音の響
笑を聴く音の響
涙を流す音の響
愛を語る音の響
死を語る音の響

三浦 樹
一 波 何
雨 漏
雲 何
草 樹
葉 一
標 一
空 水
集 水
占 波
段 渡

昭和
七月六日
購求



支山
煙翁

五輪
 巴陵
 楚南
 高麗
 美水
 月桂
 青也
 元和
 府尺
 梅兒
 壽心

耕兒
 子雲海
 八桂
 善存如
 如々
 里人
 吾水
 桂家
 甘香
 石山
 常笑

西の空を渡る鳥の影
 遠くを渡る舟の影
 空を渡る雲の影
 空を渡る風の影
 空を渡る雨の影
 空を渡る雪の影
 空を渡る雷の影
 空を渡る虹の影
 空を渡る月の影
 空を渡る星の影
 空を渡る日の影
 空を渡る年の影
 空を渡る命の影
 空を渡る愛の影
 空を渡る夢の影
 空を渡る希望の影
 空を渡る理想の影
 空を渡る未来の影
 空を渡る無限の影

春の風
 夏の日
 秋の月
 冬の雪
 春の雨
 夏の雷
 秋の虹
 冬の月
 春の星
 夏の日
 秋の年
 冬の命
 春の愛
 夏の夢
 秋の希望
 冬の理想
 春の未来
 夏の無限

藤子下しつとつて ふうふうのふ
ふんふん ふうふうのふんふん
ふうふうのふんふん ふうふうのふん
ふうふうのふんふん ふうふうのふん
ふうふうのふんふん ふうふうのふん
ふうふうのふんふん ふうふうのふん
ふうふうのふんふん ふうふうのふん
ふうふうのふんふん ふうふうのふん
ふうふうのふんふん ふうふうのふん

清浦 希言 松花 赤塚 冬扇 尺八 浦人 角香 月夜 輪古

上あさひ 上あさひの夕楊
上あさひの夕楊 上あさひの夕楊
上あさひの夕楊 上あさひの夕楊
上あさひの夕楊 上あさひの夕楊
上あさひの夕楊 上あさひの夕楊
上あさひの夕楊 上あさひの夕楊
上あさひの夕楊 上あさひの夕楊
上あさひの夕楊 上あさひの夕楊
上あさひの夕楊 上あさひの夕楊
上あさひの夕楊 上あさひの夕楊

藤樹 卜筮 東南 漢才 赤松 梅人 赤香 尺八 月夜 保泉



香雪



能雪
 永保
 雙山
 平陸
 鶴山
 龍虎
 桂丸
 改二
 旬光
 答胤
 晴月
 山松
 一舞

五全
 五糸
 甚敷
 拖芝
 梅邊尾
 落志
 有秋
 五色
 梅芳
 終朝
 有川

石女
 伯時
 智翁
 菅丸
 善古
 可布
 系新
 太郎
 若丸
 折石

舟文
 平夕
 維溪
 五郎
 十隣
 藤園
 葉丸
 壺半
 胤月
 田高
 若丸
 若丸
 路

丹波の山ありては けしきも
 さかきも なるばりなり けしきも
 けしきも なるばりなり けしきも
 けしきも なるばりなり けしきも
 けしきも なるばりなり けしきも
 けしきも なるばりなり けしきも
 けしきも なるばりなり けしきも
 けしきも なるばりなり けしきも
 けしきも なるばりなり けしきも
 けしきも なるばりなり けしきも
 けしきも なるばりなり けしきも

梅室
 以吉
 田来
 史子
 古友
 葉静
 派瑞
 久翁
 聖葉
 一具
 抱溪
 卓吉

いたるをえりて 雲霧のまじりて
 水もけしきのなるばりなり けしきも
 さかきも なるばりなり けしきも
 さかきも なるばりなり けしきも
 さかきも なるばりなり けしきも
 さかきも なるばりなり けしきも
 さかきも なるばりなり けしきも
 さかきも なるばりなり けしきも
 さかきも なるばりなり けしきも
 さかきも なるばりなり けしきも
 さかきも なるばりなり けしきも
 さかきも なるばりなり けしきも

夢草
 得費
 碩系
 隆物
 唯家
 晋路
 有月
 示本
 輝麻
 斗色
 条如
 庵心

七十子

七十子
解
卷
一

千代の美

二馬の巻

小坂

うゑの巻

昭宗の巻

